

「森のじかん」森あそび・森まなびプロジェクト

- 1 目的 「morinos (モリノス)」(正式名称：森林総合教育センター)では、森林空間を舞台に、近年失われがちな「五感で感じる体験」や「自由な遊び」を通して、“生きる力”や“主体的に学ぶ力(アクティブラーニング)”を育む活動を行っています。
地域の森や校庭が日々の教育や保育と真の意味でつながり、子どもたちの健やかな成長を促すことを目的とした「森林体験の日常化」を目指します。
- 2 実施期間 令和8年5月から令和9年3月末まで
- 3 対象 保育所、幼稚園、こども園、認可外保育施設、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校 等
- 4 募集内容 上記の目的に賛同し、子どもたちと森が日常的につながっていくことを最終的な目標とした、以下3種類の活動のうち1つを「受け身ではなく主体的に」実践していきたい保育・教育施設を募集します。
募集数：①と②合わせて21施設程度、③は7施設程度

タイプ	活動概要（個別相談のうえ決定。以下は一例です。）
① 森の出前体験 (年1回)	morinos スタッフが園や学校に出向き、園庭や校庭、近くの森や公園を活用した自由な遊びや森の体験をお手伝いします。 (例) 自由な木工、自由なあそび、自然素材を使ったクラフト、春秋見つけ、火起こし、自然観察、秘密基地づくり、森の整備、森で国語・算数・理科・社会など
② morinos 体験 (年1回)	morinos にお越しいただき、morinos の広場や森を活用した自由な遊びや森の体験をお手伝いします。 (例) 自由な木工、自由なあそび、自然素材を使ったクラフト、春秋見つけ、水・泥遊び、火起こし、裸足の体験、自然観察、小さな沢登り、森で国語・算数・理科・社会など
③ 通年体験 (年3回以上) 3～5年の継続が可能な学校等が対象	将来、週1回以上、近所の森や自然の中で保育や教育を積極的に展開していきたい施設のための活動自立サポートプログラム。 自力で地域の森を活用した日常的な保育・教育を実施できるようになるまで、数年にわたり継続的に応援します。 (例) フィールドにしたい地域の森の調査や整備、活動を保護者に理解してもらうための親子行事や講演、自由な遊び、自立に向けたスタッフの研修、森で国語・算数・理科・社会など ●重点枠として、異年齢の子どもたちが共に活動する取組みを推進します。年齢や学年を超えた交流を通じて、協働性や思いやり、主体性を育むことを目指します。なお、このような活動に積極的な学校等を優先します。

※ 応募多数の場合は選考により決定します。なお、過去に①及び②の利用がそれぞれ1回以下の学校等を優先します。

※ ③に採択された場合、morinos が実施する「指導者向けスキルアップ研修」に年間2回以上参加いただくことを必須条件とします。(詳細は採択後にご案内します)。

5 支援内容 学校が企画するプログラムの立案支援、指導者の派遣、道具の貸出し等
※以下については、学校等で準備してください。

- ・活動物品、体験材料、消耗品等（morinos が貸出す物品は除く：個別調整）
- ・活動場所の確保（②は除く）

※会場確保や地権者等との交渉は学校側の役割です。場所探しでお困りの場合は
ご相談下さい。

6 スケジュール

（１）応募から実施決定まで

- ・応募期間 令和 8 年 1 月 2 9 日（木） ～ 令和 8 年 2 月 1 9 日（木）
- ・実施決定連絡 令和 8 年 3 月 1 3 日（金）までにお知らせします

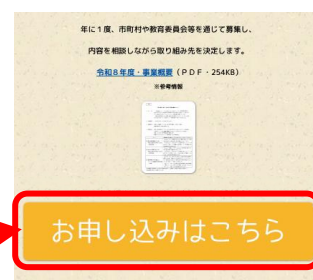
（２）実施決定から実施まで（事前調整時期は目安です）

- ・2 か月前 電話による事前調整（日程、場所、参加者、服装、写真、雨天時対応 等）
- ・1 か月前 活動場所事前調整（当日参加の教員等と現地踏査、活動内容確認 等）
- ・前日まで 受け入れ側での事前準備
- ・当日 プログラムの実施

7 応募方法

森林総合教育センター(morinos)のH P の以下の申込みフォームに令和 8 年 2 月 1 9 日（木）
までに入力願います。

「なにができるの？」→「県内のこども園・学校向けプログラム「森のじかん」」→「お申し込みはこちら」



【過去の活動報告一覧】
検索してみてください



【ホームページ】



【申し込みフォーム】